

# 南部つ子

第19号

平成18年8月31日

寒河江市立南部小

始業式校長講話

二〇〇六・八・三二

## 2学期八十四日間がんばろう

校長 宍 食 洋 一

今朝 校門のところで皆さんと挨拶を交わしましたが、久しぶりに会ったので、大変うれしくなりました。真っ黒に日焼けした人、少し大きくなったなあと感じられる人、荷物をたくさん持った人、ますます挨拶の元気な人など、いろんな人がいました。

今年の夏休みは、どんな夏休みでしたか。いい思い出がたくさんできたことと思います。スポーツ活動でがんばった人もたくさんいました。

七月二十九日、西村山区水泳大会が市民プールで行われ、南部小学校から参加した人たちを応援に行きました。

八月六日、蔵王坊平高原での山形県ジュニアクロスカントリー大会がありました。南部小学校からも何人か、坂を上ったり下ったりして走りました。

八月十九〜二十日には山形県少年少女スポーツ交流大会があり、寒河江市民球場では、寒南ガッツが優勝し、南部小学校体育館で行われたミニバスケットボール女子が優勝しました。今回もスポーツの盛んな南部小学校をアピールしました。

また、甲子園では、日大山形高校が山形県の長い伝統であったベスト8入りを達成しました。さわやかなプレーの連続で県民を高校野球の虜にしました。このチームの監督さんは、南部小学校出身であり、皆さんの先輩であり、荒木末良依さんのお父さん荒木準也さんです。今治西高校との延長十三回での逆転勝利、今回優勝した早稲田実業との堂々五角の戦いなど、すがすがしい試合

を県民に見せてくれました。

今も昔も、南部小学校はスポーツが全国レベルで盛んなところです。最後まであきらめないという気持ちをもって取り組む皆さんの今後の活躍を期待しております。

2学期は八十四日間です。しっかりと勉強し、たくさん本を読み、一杯汗を流したなあと振りかえらるる学期にしてください。

八月二十日早朝には、約1時間半、皆さんのうちの方々が学校にきて、体育館のガラス磨き、教室の蛍光管磨き、グラウンドや、ビオトープの草取りなどをして、皆さんが2学期を気持ちよくいいスタートできるようにきれいにしてくれました。ありがたいことです。みんなです感謝しましょう。

また、とても暑い夏休み中、「みなみおはなしかご」や「母親委員会」、申し込みをいただいた「ボランティアの方々」そして、「教職員」で約1万冊の図書の整理をしていただきました。これからは、バーコードにコンピュータの読み取り機を当てるだけで本を貸し出すことができるようになりました。読書量が3倍に増えると言われてるので、皆さんの読書が増えることを期待しております。

2学期は、行事がたくさんあります。水泳大会、運動会、5年生の寒河江祭りでの太鼓の演奏披露、4年生の交歓音楽祭出場、学習発表会など目白押しです。暑くなく寒くなく勉強するにはいい季節になります。

交通安全に気を配り、うんと本を読んで、うんと汗を流してよく頑張ったなあといえる2学期にしましょう。

## 八月の俳句

八月十九日は、全国俳句の日でした。

### 一年

おこごと たべるすいかは おいしいな しだ しようや  
あきがおが 七つさいたよ ありがとう こはやし あらた  
あきおきて あきがおつ かおを出す えんどう まいの  
あめあがり げんかんまに かさはな にしだ かなめ

ほくよのも おおきいすいか たててみた さつう かい

なつまつり きよねのゆかた ちいさいな みよばやしちよ

じいちやんと ほくよのゆかた はがまいり さつう しんじ

うみカモメ えいせんあげた あついなつ あべ ふみや

スイカたべ ほくのかおみて ははわらう えんどうよしのり

うみにこき またきたよ「あいつさつ ますかわ はつき

なつやすみ たのしかったよ すいぞくかん しかま なおや

めのみまに おおきひろく はなひのわ あひこ たいが

あきがおほ ほくよのやおおき いっとうしよう あべなお

あめやんで くものすびかひかかっている おおめまじゆんすけ

わになつて たいこにあわせ ほんおどり こき ひろたか

とうさんに かわいそつたよ せみががす たけた かすき

ふようはね ほくのかおより てっかいな たけた かすや

なつのつみ さかながとれたよ じびきあみ たけた えいり

### 二年

川に行き 流れる水音 すずしいな 長岡 なつみ  
じいちやんの 作ったスイカ ああこまい 阿部 幸大  
朝早く大声でなく せみのこえ 大竹 司  
朝顔は 四時におきても 咲いている 吉見 健  
ゆかたきて かぞくみんなは はがまいり 秋葉 美鈴  
ゆつすすみ せみのなきこえ 川の音 鈴木 杏奈  
見つけたよ 青いお花に 赤こんぼ 高橋 藍里

ほつせんか 花咲くころが 楽しめた 柴橋 杏菜  
かみなが ピカツとなるたび へそかくす 福井 歩  
テレビみて 去年のねがた 思い出す 大築 深

盆休み 手に汗にきる 甲子園 白田 悠人  
はがまいり ちよつちん片手に 道めんない 古城 智治  
送の火に 来年きてね ほとけ様 高橋 楓

日大の おつせん家族で あつくなる 柏倉 豪  
夏の夜 花火でかいた かぞくのわ 須藤 円香  
お願いだ 指にとまって 赤こんぼ 佐藤 実来

四年

魚つり 大物つって おいわた

ヒコウシンの 鳴き声聞いて 暮参り  
ほくほくも 早く起きる 庭のせみ

暑い夜 ヤシヨウマカシヨと 踊ってる  
ほんおひの たいの音に さざくれた

一日で白菜の種 芽が出たよ  
七夕に 願いをすれば かなつかも

大阪で 日大山形 ばくはつた  
夏祭の わたあめラムネ 食べまわる

雷の 音にも負けない母の声  
寝るときは 氷枕を うばいあつ

ほんやすみ かぞがかんぞう うれしいな  
ほんおひの たんさんおとつて つかれたな

先祖様 迎え火消えて 道まよう  
大好きな 海の大波 負けないぞ

五年

盆休み 兄二人で 豆を食つ  
花火みて 心に響く 夏休み

赤とんぼ キユウリの枝で 一休み  
天の川 私の心を 守っている

黒い種 ぶつぶつと飛ばして スイカ食べ  
稲の花 もつすくお米 できるかな

朝顔は 日の出とともに 花開く  
スイカ食べ 黒い種が じままする

盆踊り 真夏の夜が にぎやかに  
朝起きて 窓を開けたら 蝉の声

夜空だね 夏の花々 咲いている  
天の川 夜空の上を 流れている

六年

じいちゃんを 迎えた行った 墓参り  
友達で スイカを食べて 種こぼし

石川 空

佐藤 匠

大竹 航

大泉 完太

大江 晟汰

高橋 駿

布川 魁斗

原田 友輝

武田 広大

富樫 純哉

鮎澤 葉菜

遠藤 友記

古川 明日香

高橋 茜

増川 花音

田口 源

森岡 晃太郎

森岡 鮎美

蝉の声 都会の子どもに 届けたい

夏休み バスケに連れて 地区優勝

ヒコウシが 家に入って おおさわぎ

父と子で 一つ見たいな 流れ星

蝉の声 聞こえますます 暑くなる

夏祭の きれいな浴衣に そで通す

夕焼けで まっかにまわる 夏の日

ひぐらしが 夏の夜中を すずませ

妹の 小さい頭 汗をかか

墓参り ほくほくを わかるかな

次々と らつきよつのが 咲きほこる

夏の夜に 稲妻光り へそかきす

風鈴の 音色を聞かす 風囀る

雷と一緒に落ちる 母の声

夏の夜の 花火がほくら 祝ってる

初ゆかた なれず何度か つまづいて

終戦日 平和の折り鶴 願いこめ

秋の星 あわててシャッター きまわらし

大人の部

盆がきて 母の故郷に 里帰りの

水遊び水面に映る 子どもの笑顔

涼風が恋しく思う 夏の夜

楽しんで花笠祭の孫の顔

稲の花 みんなそつて おきまる

秋の空 鉛色した 空の色

たんざくに 願ひますき 竹しなる

サイダーの 泡かはじける 終戦日

盆火火 見上げるたちの 笑顔かな

梅雨あけて イルカのショーに 歓声響く

阿部 美空

武田 郁美

佐藤 佑衣子

川越 政伸

宇井 康太

阿部 穂乃花

渡辺 一貴

佐藤 有華

和田 弥生

佐藤 佳祐

高橋 宏季

和田 由月

沖津 彩貴

富樫 菜穂穂

斎藤 条

逸見 優生

大沼 希

神藤 恵莉奈音

佐藤しんじ兄拓也

鈴木 涉

鈴木 志季

西田陽菜野祖母

柴橋杏菜 祖母

柴橋杏菜 祖父

金澤一真 母

阿部美空 母

宇井康太 母

花笠を 赤白かすりで 舞う娘かな

校庭の せみに負けずに あいさつす

法 法華教 湿原で味い 甘露かな

夢野 継木

夢野 継木

夢野 継木



▼大運動会のご案内▲

○日時 九月九日(土)九時

○場所 本校グラウンド

○内容 徒競走 なかよし種目 全校種目

PTA種目 幼児めぐる競争



まぶしい元気！校内水泳大会 8/29



「南部太鼓」寒河江祭りにむけて猛練習中!

**『ピオトーフ・ボランティア』を募集しています!**

■日頃より南部小ピオトーフ「なかよしこみち」につきましては、ご理解と協力ありがとうございます■毎月第1土曜日の朝6:00から1時間程度、運営委員が植栽・管理などを行っています(10月は7日)■地区の方でも御協力いただける方がありましたら、是非よろしく願いいたします。

ピオトーフ管理運営委員会(問い合わせ 学校 Tel. 86-2443)